

2015 年 4 月 吉日

琳派四百年記念祭

光琳ゆかりの菓子と限定商品販売のお知らせ

琳派の芸術は絵画に留まらず、衣装や工芸など様々な分野に受け継がれてきました。花鳥風月を装飾的に描き、時に大胆に単純化する斬新な琳派の作風は、和菓子の意匠にも影響を与えたと言われています。

今回は、琳派を代表する絵師・尾形光琳がとらやに注文した菓子をご紹介します。
また琳派の絵師・中村芳中の絵画をあしらった限定パッケージの商品もご用意いたしました。
この琳派四百年の節目に、琳派の美に思いを馳せつつ、和菓子を楽しんでみてはいかがでしょうか。

【尾形光琳と「とらや」】

「とらや」は、室町時代後期に京都で創業し、大名や豪商、文化人など様々な方からご注文をいただいてまいりました。その一人に尾形光琳がいます。

「とらや」には、光琳が、パトロンであった銀座役人・中村内蔵助^{くらのすけ}にお菓子を贈った記録が残っています。

そのうち「色木の実」^{いろこのみ}と「友千鳥」^{ともちどり}は、とらやの元禄8年(1695)「御菓子之畫圖」^{おかしのえず}に意匠見られます。「色木の実」は、くちなしと小豆で着色した生地で、秋に色づいた葉と木の実を表わしています。(現在では葉のみをおつくりしています)

また「友千鳥」は小豆の粒を群れ飛ぶ千鳥に見立てています。
※今後の販売については未定です。(順次お知らせいたします。)



羊羹製 色木の実

元禄8年 ^{おかしのえず}「御菓子之畫圖」

(部分：右が「色木の実」)



蒸羊羹製 友千鳥



元禄8年 おかしのえず
「御菓子之畫圖」

(部分：左が「友千鳥」)

【琳派が彩る伝統の味】

琳派四百年を記念して限定パッケージに、食べきりサイズの小形羊羹を詰め合わせました。

パッケージには、江戸時代後期に活躍した琳派の絵師・中村芳中の絵画「仔犬」(芸艸堂刊『光琳画譜』より)をあしらっています。



- 商品名 琳派四百年記念 小形羊羹 14 本入 (写真は京都限定詰合せです)
- 本体価格 3,560 円
- 販売店 京都高島屋、難波高島屋、横浜高島屋、日本橋高島屋 各とらや売場
- 販売期間 京都高島屋 (3/17(火)～)、難波高島屋 (4/1(水)～)
横浜高島屋 (4/15(水)～)、日本橋高島屋 (4/29(水・祝)～)
※売り切れ次第終了

そのほか、お土産やちょっとした贈り物に最適な商品もご用意しています。
食べきりサイズの小形羊羹を6本(京都限定入りは7本)セットにしました。
琳派の絵師・中村芳中の作品などをモチーフにした限定カードをお付けしています。



※東京地区では取り扱っておりません。

＊取材に関する問い合わせ先＊

株式会社 虎屋 京都営業部営業管理課 担当：橋爪
電話：075-431-4734 FAX：075-411-2292